

VACUUM PACKAGING MACHINE AZシリーズ

自動真空包装机 AZ-291K

コンパクトながら高性能ポンプで納得のいく真空能力。
音も静かで店舗などに最適です。

小ロットの真空に最適

卓上型

AZ-291K

定価 248,000円

特 徴

- 高性能で丈夫なポンプを搭載しました。
- 業務用の能力を持ちながら驚きの価格。
- 卓上型なので設置場所を選びません。
- 操作もカンタンでどなたでも使えますので、初めて使う方にもお勧めです。

2016年4月発売モデル。
真空ポンプの内部の部品の一部を
日本製にし、さらに丈夫になりました。



自動真空包装机 AZ-291K

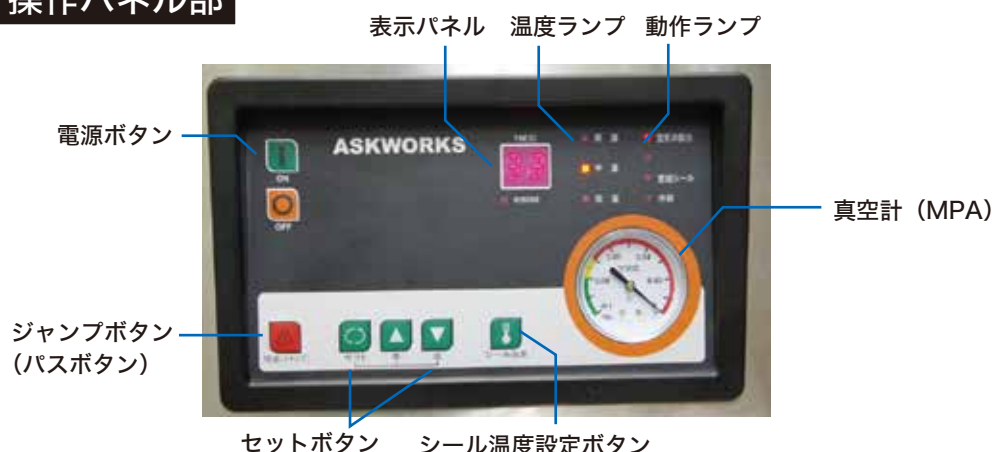
各部の説明



ケースオープン時



操作パネル部



型 番	AZ-291K
消費電力	100V 50/60HZ ヒーター線 1050W 真空ポンプ 520W
外形寸法	W330 x D480 x H350 mm
チャンバー内寸法	W280 x D380 x H50+40 (計 90) mm
シール長	幅 8mm X 長さ 260mm
重 さ	30Kg
空気排出能力	12m ³ /h (99.9%到達まで約 30 秒)
真空能力	<1.066KPA

飲食店様、レストラン様
向けに開発されております。
食品保存から、真調理に、
一台あれば役に立つこと
間違いなし！

- ・ 実用的に使える最大の袋のサイズは 25×38 c m。
- ・ 連続使用時間は最大 45 分間です。それ以上使う場合は 2 時間程度休ませて下さい。

株式会社アスクワークス

TEL:03-5610-3666

販売代理店名

わかりやすい真空包装機の使い方 1

AZ シリーズ

製品出荷時に基本的な設定をしております。まずは機械を使ってみてください。



- 1、背面のメイン電源を入れます。
(上に上げる。)



- 2、右側のロックを外し、ふたを開けます。



- 3、正面の電源ボタンの ON を押します。



- 4、一日の初めに使い始めるとき、ふたをゆっくり下げてモーターが回ったところで止め、(完全にふたを閉めないで) 10 秒程度モーターを回す。ふたを上げ5秒休む。この暖機運転の作業を行ってから使い始めてください。
(気温が5度以下の場合、ポンプ内のオイルをよりほぐすため、2セット行ってください。)



袋の口がはみ出さないように注意する。

- 5、袋に入れたものを中に入れ、押さえのバーをかぶせます。このとき袋の口がチャンバー内に入るように入れてください。



- 6、両手で体重を乗せるようにふたを閉め、2、3秒押さえつけます。すると、自動的に空気を抜いていきます。



- 7、タイマーが0になり、密封シールを自動的にしてふたが開けば完成です。



- 8、さまざまな食品などに対応してます。いろいろ使ってみてください。

- 9、45分ぐらい連続で使用した場合、2時間ぐらいポンプを休ませてください。(ポンプのオーバーヒートを防ぐため)

わかりやすい真空包装機の使い方 2

AZ- シリーズ
100V 用

用途に応じてさまざまな設定ができます。(ふたを開けてください。)



下側のセットボタンを押す。

- 1 回押す→排出時間の調整 (空気の排出のランプ)
- 2 回押す→シール時間の調整 (密封シールのランプ)
- 3 回押す→冷却時間の調整 (冷却のランプ)
- 4 回押す→END 表示 (ランプが消え Ed 表示)
(または — 表示)



1、排出時間の調整 (空気を抜く時間)

空気の排出のランプがついているとき、▲▼で調整できます。
通常 30 ～ 35 秒前後でちょうどいいです。

調整したら、セットボタンを 3 回押して ED を表示させます。



2、シール時間の調整

袋の厚み、素材 (ナイロン、アルミパックなど) によって微調整します。
密封シールのランプがついているとき、▲▼で調整します。
通常 1.2 から 1.5 でちょうどいいです。

調整したらセットボタンを 2 回押して ED を表示させます。

**注意：極端に 3.0 以上にしないで下さい。すぐにヒーター線が切れて
しまいます。**



3、冷却時間の調整

袋の厚み、素材によって微調整します。

冷却のランプがついているとき、▲▼で調整します。

通常は 2.0 でちょうどいいです。

調整したらセットボタンを 1 回押して ED を表示させます。



4、シール温度の調整

袋の厚み、素材によってシール温度を調整します。

1 回押すたびに移動します。(ランプが付いていないときは、シール
機能が OFF になり、シールしません。)

通常は真ん中の中温でちょうどいいです。

**注意：高温はなるべく使わないこと。使っても、シール時間を
2.5 以上上げないでください。**

(2014/10/17改定版)

真空包装袋価格表 (全て税別表記)

福助工業製品ナイロンポリTLタイプ／5種類
(安心高品質の日本製、弊社推奨の袋です。)

サイズ	枚数	価格	厚さ	お得な1箱売り(1枚あたりの単価)
14-20 (小1)	100枚	550円	0.06mm	3000枚 : 13,700円 (@4.5円)
18-25 (小2)	100枚	790円	0.06mm	2000枚 : 13,520円 (@6.7円)
20-30 (中)	100枚	1,100円	0.06mm	1600枚 : 14,570円 (@9.1円)
24-36 (大)	100枚	1,320円	0.06mm	1000枚 : 12,120円 (@12.1円)
30-43 (特大)	100枚	2,190円	0.06mm	600枚 : 12,280円 (@20.4円)

(※ 30-43 (特大) は「AZ-290 J」・「DZ-300」・「DZ-301W」には使用不可です)

- その他サイズも一部取り寄せ可能です。
- 表面印刷にてオリジナル袋を作ることも可能。(2万枚程度より対応します)

【お支払い方法】

- お振込み (ご入金の確認後に発送／お振込み手数料はお客様のご負担となります)

三菱東京UFJ銀行 永福町駅前 (IイフキヨウIキキ) 支店 普通 0453806 カ) アスクワークス

■ 代引き

※別途代引き手数料 : 1万円以下「300円」、1万円以上「400円」(税別)

【送料】

何枚でも全国一律 : 700円 (沖縄・離島を除く)

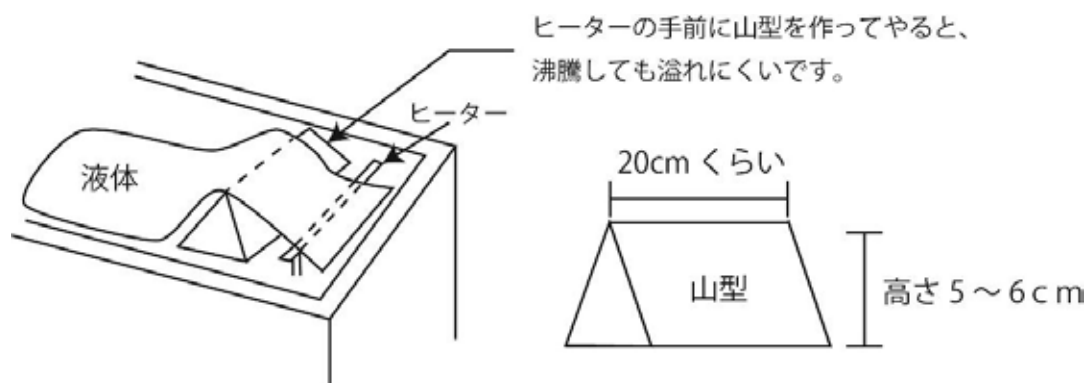
※ご注文金額10000円以上で送料無料です!

130-0004
東京都墨田区本所4-2-2
株式会社 アスクワークス
TEL:03-5610-3666
FAX:03-5610-3667

汁物、液体を含むものを真空パックする方は必ずお読みください。

液体や、液体を含むものを真空パックする場合、水分は常温でも気化して（低温沸騰という）、ポンプ内に吸い込まれます。そして、ポンプ内でまた水に戻り、水がたまってしまうと、ポンプ内がさびつき、壊れてしまいます。（ポンプロックという）下記の点に十分ご注意ください。

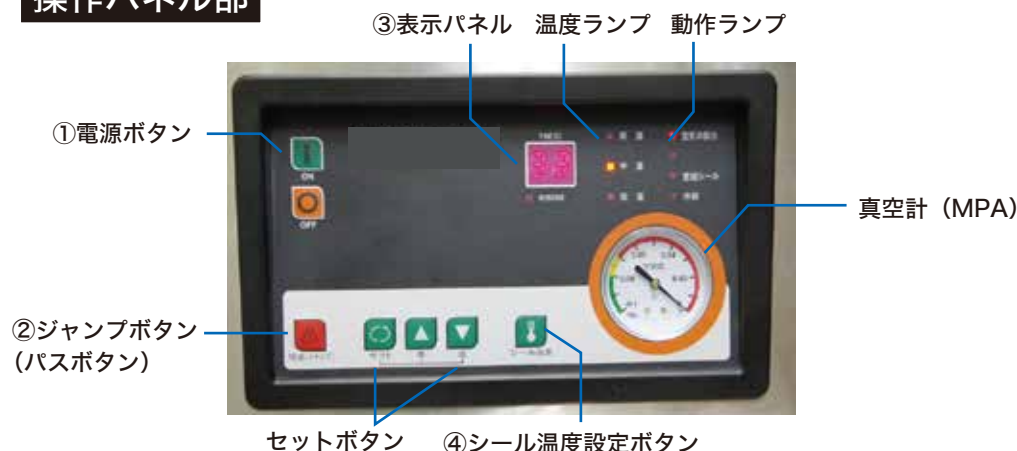
- ① 暖かいまま真空をかけない。（暖かいほど水が気化して吸い込まれやすい）冷やした状態で真空引きしてください。
- ② 液体、汁物をこぼさない。こぼしたら、その度にきれいにふき取る（シールユニット（シールする部分）も持ち上げ、下の青い空気袋の下も拭く）。
こぼしっぱなしで使い続けると、すべて気化してポンプ内に吸い込まれます。
下記のように三角のスロープを厚紙（ティッシュの箱などの）などで作ってやると、こぼれにくいです。



- ③ 後ろのオイルチェック窓を週に1度は目視して、汚れ始めたら古いオイルを抜いて、こまめに新しいオイルに交換する（継ぎ足すだけでは、ある意味逆効果です。古いオイルをすべて抜いてオイル交換してください。）。どのぐらいの頻度で交換したらよいのかは、使い方によって、全く異なります。早い方では3週間に1回、汁物をやらない方は1年に1回ぐらいです。定期的に後ろのチェック窓を見ることが大切です。
- ④ 見た目に液体ではないもの（揚げ物、ハンバーグ、お惣菜など）もたくさん水分を含んでいます。十分ご注意ください。
- ⑤ しばらくの期間使わない場合（1，2週間以上）はオイル交換を必ずしてからしまってください。ポンプ内に水がたまのまま放置すると、次に使おうとしたらすでにさび付いてしまって動かない可能性が高いです。

その他、覚えておくと便利な使い方、注意点など

操作パネル部



① 電源ボタン

ON を押すと使えます。必ずふたを開けてから ON にしてください。

長時間使わないときは、後ろのメイン電源をお切りください。

また、真空をかけて、やり直したいとき、(ストップしたいとき) OFF を押して、すぐ ON を押すと、シールせず、やり直すことができます。

② ジャンプボタン

真空作業の途中(空気の排出の途中)でシール作業に強制的に移行します。

液体のふきこぼれ防止や、1つだけ真空せずシールのみしたい、といった場合に便利です。

シールのみしたい場合、最低でも真空計が 0.06 以上のところでジャンプしないと、きれいにシールができません。

③ 表示パネル

□□のマークのまま、放置しないでください。(真空が終わってもふたを閉じたままの状態) 電磁弁の部品が壊れてしまいます。

ed という表示は、END (エンド) つまり作業が終わりましたというサインであり、エラーコードではありませんのでご安心ください。 _ _ の表示も同じです。

④ シール温度設定ボタン

暖機運転するとき、カウントダウンが 0 になると、電熱線に電気が流れ、発熱します。

この際、ふたが開いた状態、つまり酸素がある状態だと、煙が出たり、発火する可能性があるため、0 までやるならシール温度ボタンを何回か押して、ランプがどこにもついていない状態(切)にして、暖機運転をしてください。

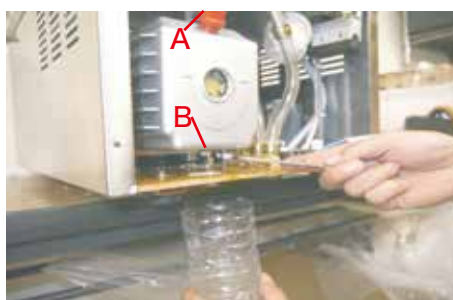
1、ポンプオイルの交換（とても重要です。）

オイルは後ろの窓から見て、汚れていたら交換してください。（期間や、回数に関係なく、とにかく汚れてきたら、交換です。）量は窓から見て半分ぐらいがちょうどいいです。購入初期は特に毎週のようにチェックして、汚れを確認してください。汚れたまま使い続けるとポンプが破損してしまいます。オイルを継ぎ足す行為は逆効果です。必ず交換です。

準備するもの： ①ペットボトルなどの受け容器（廃油入れ） ②プラスドライバー
③10番のスパナ ④オイルジェット



①机からドレンボルト分をはみ出して下に容器を用意する。



② A の赤いキャップをゆるめる、ペットボトルをネジの下に用意し、10番のスパナでBのネジを半分ゆるめ、手で外して廃油を抜け出します。



③平らな所に戻し、少しずつオイルを入れる。（半分まで）

2、ヒーター線保護用テフロンテシートの交換

熱で融着するところのテフロンシートが焦げてしまって、ヒーター線が見えてしまっていたら交換してください。（そのままにしておくとヒーター線が切れたり、きれいにシールできなくなります。）



この部分

3、消耗品値段一覧（税別、2016/6/21 現在 価格は変動する場合がございます。）

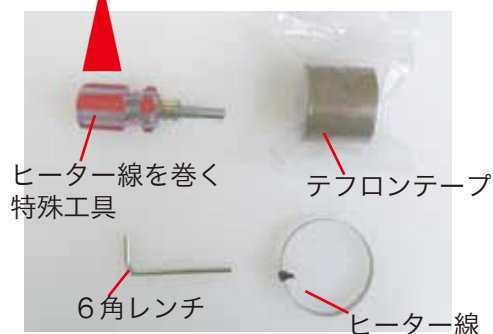
高純度ポンプオイル	1 リットル	1500 円
	4 リットル	4500 円
テフロンシート	2 メートル巻き	1200 円
ふたのパッキン	1 回分	1800 円
ヒーター線	1 本	500 円

ヒーター線の交換

(シールが付かない、密封ができない、発熱しない場合)



棒部分を引っ張ると、
ヒーター線を巻く工具と、
プラスドライバーにもなります。



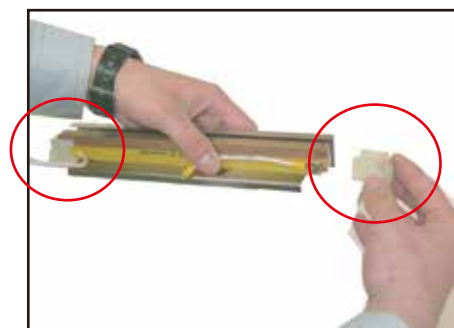
①付属品から、写真の部品、道具を取り出します。さらに、ご自身でニッパーと、カッターをご用意ください。



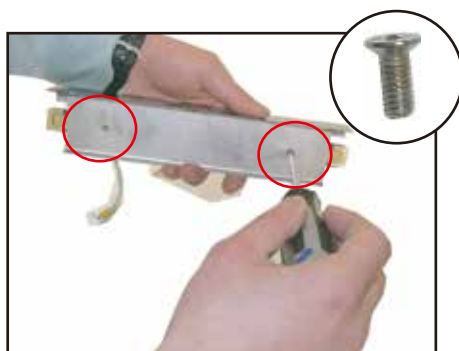
②両サイドの導線を本体に止めてあるプラスのネジを外します。(2箇所)



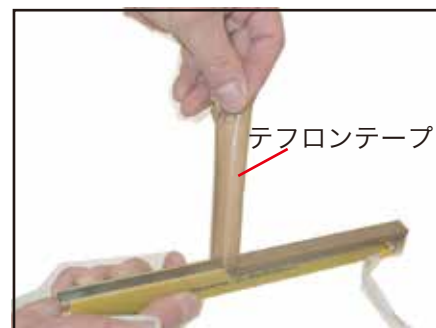
③シールユニットの袋を押さえる棒を外すため、両側のプラスのネジを外します。(2箇所)



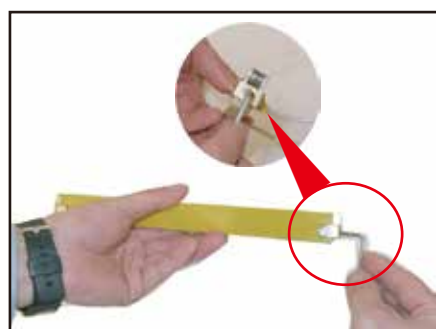
④両サイドのプラスチックのパーツを引っっこ抜きます。(2箇所)



⑤シールユニットの裏側のネジを外します。(2箇所)



⑥テフロンテープ (茶色いテープ)をはがします。



⑦写真の位置の六角穴付きボルトを緩めます。(左右2箇所)すると、ヒーター線が外れます。

はみ出しを0～2ミリにする(重要)



⑧今度は新しいヒーター線を取り付けます。このとき、はみ出し部分を0～2ミリにしてください。

× 悪い例

はみ出しが多すぎです。



⑨反対側のヒーター線を金具に通し、手である程度、引っ張ります。



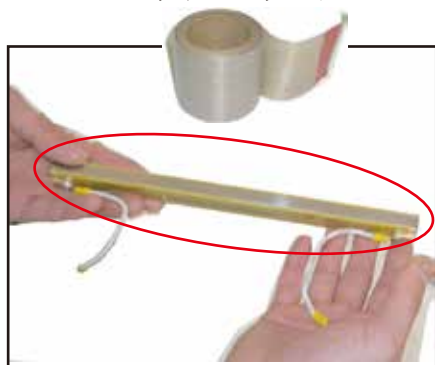
⑩はみ出したヒーター線を特殊工具でしっかりと張ります。もう片手で六角ネジを締めて、固定します。



⑪余った部分をニッパーでカットします。このときもぎりぎり短くカットしてください。黄色の土台より、はみ出したらアウトです。(重要)

▶
裏面へ

テフロンテープ



⑫この上に、テフロンテープを貼ります。はさみで切って貼ってください。



⑬金具部分にかかった余分なテープを形に合わせてカットすると、はがれにくいです。



⑭あとは逆の手順で各部品を取り付ければ完成です。

本体に取り付ける前に今一度チェックしてください。

○ 良い例



ヒーター線が黄色の土台より、はみ出していない。

× 悪い例



ヒーター線が黄色の土台より、はみ出している。

ヒーター線が土台よりはみ出していると、チャンバー室に接触してしまい、漏電となって発熱がうまくできません。また故障につながるので、お気をつけください。

ヒーター線を交換しても直らない場合、シールユニットの両サイドの2本の導線が劣化している可能性が高いです。



劣化した導線



断線している、または断線しそうだ。
(端子部分を手で引っ張ってみて、ぽろっと取れるようだとアウトです。)

パッキンの交換

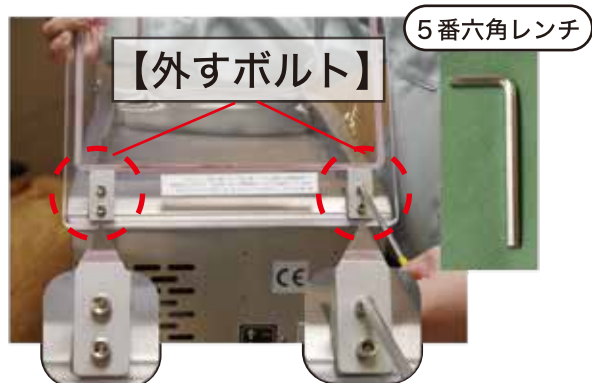
後方



①パッキンの【裂け】や【欠け】を確認したら、パッキン交換をします。



②本体後方から、ふたの根元ボルト 4 つを 5 番六角レンチで外します。(根元に負荷が掛かる為、ふたを開けたままの状態を外します。2 人で作業すると、やりやすいです)



【重要】

③ふたと根元の間に高さ調整用の【ステンレス板】が入っていた場合は、入っていた所が分かるようにメモして下さい。



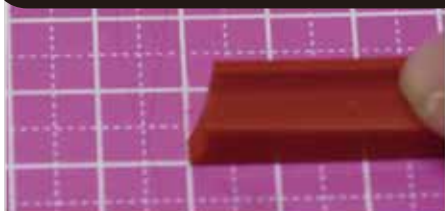
※写真では、右側に 2 枚のステンレス板が入ってました。取り付ける際に分かるように覚え書きして下さい。

④ふたをひっくり返して置き、古いパッキンを引っ張って外します。
【スキマ調整用の材料】や【白い修正剤】などが入っている場合は、そのままにしておいて下さい。



⑤新しいパッキンの先を片側だけ (もう片方は仕上げの際にカットします)、カッターで【垂直】にカットします。

× デコボコしていて失敗です。



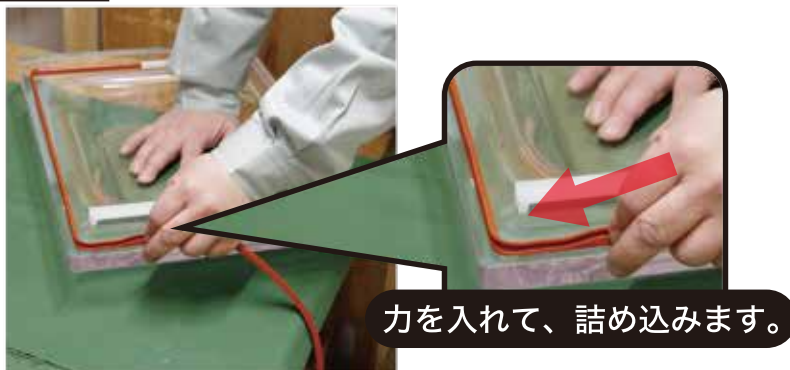
○ 真っ直ぐにカットされています。



パッキンの交換

⑥新しいパッキンを溝に入れます。伸ばしながら入れるのではなく、詰め込みながら入ると良いです。パッキンの向きはビラビラが外にくるようになります。

重要！



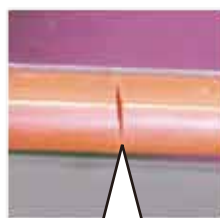
※ビラビラは外向きです。



⑦最後の繋ぎ目は、3ミリほど長めに印を付けてカットし、溝に入れます。
(斜めにカットしたり短くカットすると、そこから空気がもれてしまいます。)



※悪い例

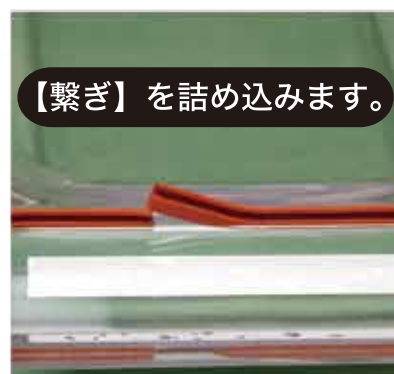


※良い例



ここから空気がもれてくるので、完全真空できなくなります。

⑧カットに失敗した時は、5センチほど切り、余っているパッキンで【繋ぎ】を作り、溝に入れます。(垂直にカットして下さい。)



⑨ひっくり返したふたを元に戻し、②で外した根元との取り付け作業をおこないます。
(あらかじめ高さ調整用のステンレス板があった際は、メモしていた所へ忘れずに取り付けて下さい。)



パッキンの交換

■パッキンの交換後に完全真空がされない場合、以下の箇所を確認して下さい■

【症状】パッキンの繋ぎ目から、空気もれている。

【対処】繋ぎ目を垂直にカットする。

※悪い例

※良い例

【原因】



ここから空気がもれてくるので、完全真空できなくなります。

× デコボコしていて失敗です。

○ 真っ直ぐにカットされています。



【対処】

カットの仕方は、「パッキンの交換・説明書その 2」の⑦と⑧をご参照下さい。

【追記】

交換後 1～2 ヶ月経ってパッキンのゴムが戻ろうとする性質で、繋ぎ目にスキマが生じた際は、「説明書その 2」⑧の【繋ぎ】を作成して下さい。
※その為に余ったパッキン、あるいは古いパッキンを少し取り置き下さい。



【繋ぎ】を詰め込みます。

【症状】・パッキンと本体の接触面にスキマがあり、空気がもれている。

- ・フタを押さえる場所によって、真空できたりできなかったりする。
- ・フタが固い。(思い切り体重を乗せて閉めないでと作動しない)

【対処】空気がもれている所に、「スキマ調整用の材料」を入れる。

■「空気もれ箇所」の確認方法■



電源ON後、マークの所を一箇所だけ手で押さえ、フタがぴたっと吸い付き、真空を開始すれば正常です。(一箇所ずつ試していきます。)

吸い付かない場合は、押さえた箇所以外にスキマが生じていないか確認して下さい。

その 4 へ続きます。

【原因】

このスキマが原因です。



・液体を絶対こぼさないこと！ もしこぼしてしまったら、すぐに拭きとること！ (必ずシールユニットの下と、)

パッキンの交換

■スキマ調整用の材料を用意します■

厚紙などを 5 ミリ幅に切り、透明のフタの溝とゴムパッキンの間に
入れる事でゴムパッキンを盛り上げ、スキマを小さくします。



- ・材料はティッシュペーパー箱の厚紙などで大丈夫です。
- ・スキマが大きい場合は、さらに厚紙をのりで重ねて厚い調整材にして下さい。



■ゴムパッキンをダメな箇所のみ、めくります。※絶対にパッキン全部を外さないで下さい■



注意！ 調整材を入れる箇所のみ、めくって下さい。

■調整材を溝に入れます■



注意！ 再度長さが合っているか確認してから、調整材を入れて下さい。



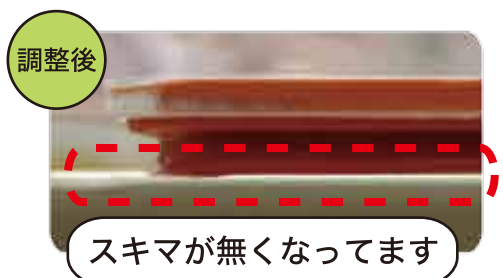
スキマに応じた厚さの調整材を入れます。
位置が安定しない場合は、のりなどで
固定してから、入れて下さい。

注意！ ※のりを塗る際、あまりはみ出ないように塗り、
溝に固定して下さい。のりが多量にありますと、
メンテナンス時の妨げになりますので、
ご使用は適量でお願い致します。

■パッキンを戻します■



白く塗られている
部分がスキマです



説明書

AZ-290J, AZ-291K(J), AZ350J

1 はじめに

真空パック機 AZ シリーズは高い品質、多機能、新奇で魅力的なデザイン、簡単な操作、お手入れ簡単です。合成フィルムやアルミホイルなどの真空パック用の袋にぴったりです。固体、液体、粉、ペースト、果物、薬、薬品、電子部品、精密機器、金属などにぴったりです。

2 特長

透明の亚克力製ガラスのカバーですので、進行状況がよくわかります。

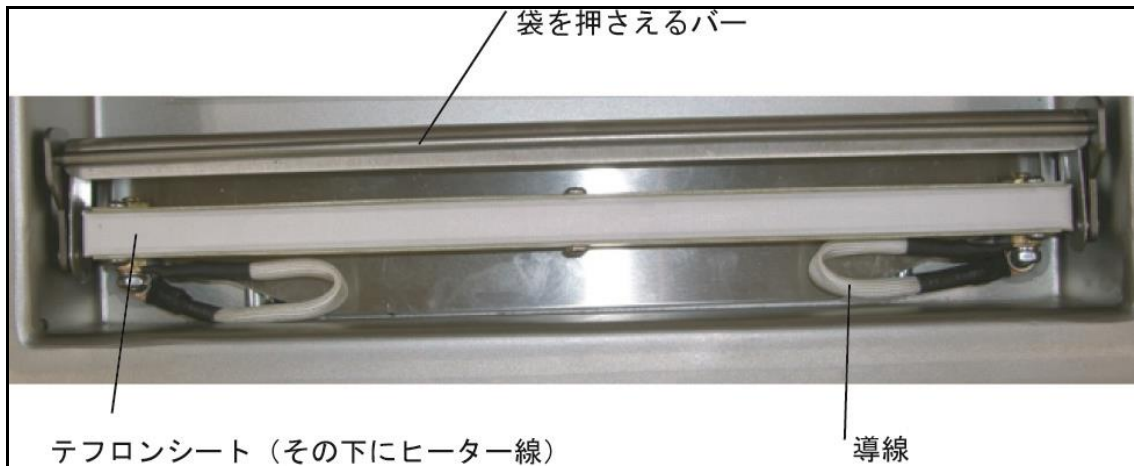
3 機器の概要（主な工学的要素）

型番	ボルト	ワット数	シール長	空気排出能力	チャンバー内寸	本体外寸	重さ
AZ-290J	100V	520W	8x26mm	10 m ³ /h	W280×D380×H50+40 (計 90) mm	W330 x D480 x H340 mm	30kg
AZ-291K	100V	520W	8x26mm	12 m ³ /h	W280×D380×H50+40 (計 90) mm	W330 x D480 x H350 mm	30kg
AZ-350J	100V 200V	520W 900W	8X35mm	10 m ³ /h 20 m ³ /h	W370×D450×H70+45 (計 115) mm	W420 x D550 x H450 mm	52kg 60kg

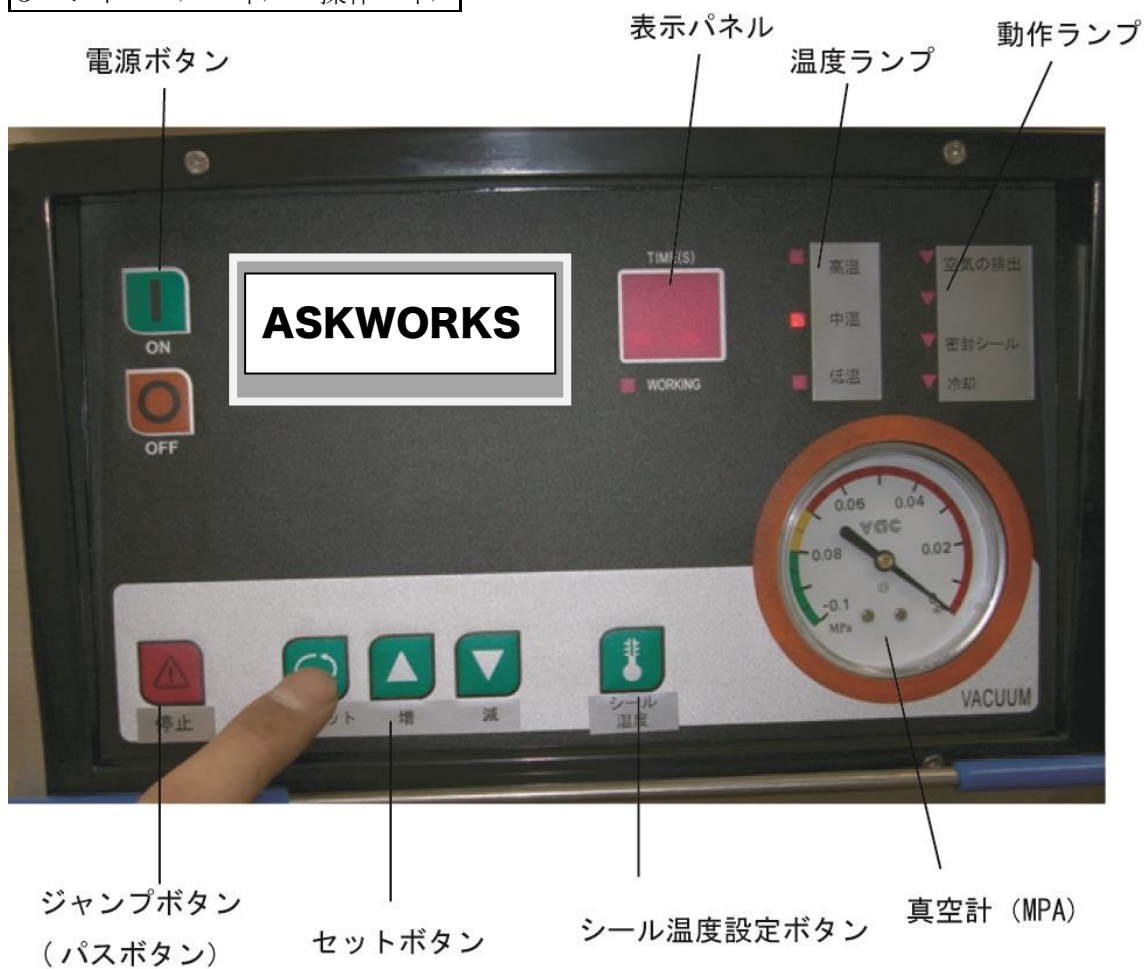
4 構造



ヒーターユニット



5 コントロールパネル 操作パネル



1 背面の電源を入れる。

表示パネルには“—”と表示される。（使用可能状態）

2 排出時間の調整

▲ ▼で0から9.9秒の間で真空時間（真空にするため空気を抜く時間）を調節する。

3 シール時間の調整

▲ ▼で調整する。通常の真空袋（厚み0.07）で1.4前後が適温です。短いほど、ヒーター線が長持ちします。（いきなり極端に3以上に上げないでください。すぐ、ヒーター線が切れてしまいます。）

4 冷却時間の調整

▲ ▼で0から9.9秒の間で冷却時間を調節する。（目安としては1.5秒から2秒）袋によって、適温が異なるので、何枚か練習して、仕上がりを見て丁度いい時間を探ってください。

5 **シール温度**を押して、3段階で調節する。（特に連続で10回以上使用し続けるときは高温は避けてください。ヒーター線がすぐ切れてしまいます。）

表示パネルにEDが表示されると、設定終了です。すべての情報は保存されます。

6 操作の説明

1 空気排出の時間は真空袋のサイズに合わせる。

2 密封シール時間や密封シール温度は真空袋の厚さに合わせる。

3 袋を真空作業スペース内に置く。袋の入れ口はしわにならないように台の上に置き、袋を押さえるバーを引っ掛ける。また、シールする部分に液体や固形物が付かないようにする。ガラスカバーを両手で強く押し下げて一度密閉されると、自動的に作動を始める。

4 真空ポンプが空気の排出を始める。

5 空気の排出後、密封シールを開始する。（排出途中でシールしたい場合は停止ボタンを押す）

6 表示パネルに□□と表示され、自動的にふたが開くと、—と表示される。注：このとき□□のマークがついたまま放置せず、ふたを開けるか、電源を切る）

7 注意

1 真空ポンプが作動しているときは、真空ポンプオイルが1/2以上あるようにする。1ヶ月に1回はオイル点検をして、汚れていたら、すべて交換する。（目安として、お惣菜、液体物をやる場合1～3ヶ月に1回、生肉、乾物の場合は1年に1回）**オイル交換を怠ると、ポンプが壊れてしまいます。**

2 機器は水平に設置し、涼しいところに置く。湿気の多いところに置かない。

3 安定した台の上に置き、落下する可能性が無いか、安全性を確認する。

4 操作の前にあらかじめ時間や温度を設定すること。損害を与えるほどの長時間、高温にしないこと。

5 カバーを閉めると真空ポンプが作動する。

6 変な音がする、または真空計の針が動かないときは、操作方法が間違っている証拠。すぐに電源を切る。

7 テフロンテープを時々確認する。滑らかに保ち、痛んでいたら換えること。

8 緊急時は、OFF ボタンを押し、すぐに停止させる。

9 使用後は電源を切る。またはコードを抜く。

10 連続使用は45分を目安として、一度電源を落とし、2時間ほどモーターを冷やす。（ポンプのオーバーヒートを防ぐため）

11 連続使用すると特に、ポンプ内のオイルが気化して出てきます。
換気の良いところに設置して下さい。

8 故障かなと思ったら

問題	理由	解決法
真空にできない	真空ポンプの接触が悪い	要交換
	起動スイッチが壊れている、位置が悪い	要交換
	上下のカバーがあわない	手で強く押す
	真空ポンプが逆転する	力のかかる面を調整
真空が不十分	真空ポンプのモーターがおかしい	要交換
	パイプラインの接続がしっかりしていない	用点検
	真空スペースか円形コイル弁が見える	要交換
	パイプが見える	要交換
	真空スペースの密封シールバーが壊れている	要交換
	真空時間が不十分	時間を延ばす
カバーが開かない	円形コイル弁が壊れている	要交換
密封シールができない	温度未設定	再設定
	変圧器が壊れている	要交換
	電流部分が壊れている	要交換
	ヒューズが飛んだ	要交換
	円形コイル弁が壊れている	要交換
	パネルの継電器が壊れている	要交換
	パネルの継電器の線が切れている	要点検
密封シールがうまくいかない	密封シール円形コイル弁の故障・閉鎖	要点検
	空気袋が見える	要交換
	密封シールの時間と温度が不適當	再設定
	汚れ	清掃
	可動部分が動かない	調節
	テフロンワックス布の故障	要交換
	帯状ヒーターが変形	要交換
密封シールから煙が出る	汚れ	清掃
	密封シールの時間と温度が不適當	再設定
操作異常	操作パネルの故障	要交換
	操作パネルの接続ミス	要点検
	操作パネルの不接続	要点検

お気軽にお問い合わせください。

〒130-0004

東京都墨田区本所 4-2-2

株式会社 アスクワークス

TEL 03-5610-3666

FAX 03-5610-3667

<http://www.askworks.com>